# スイートピー

**スイートピー**
マメ科 レンリソウ属
原産地：地中海沿岸

香りの良いこと（sweet）、豆（pea）という意味の名をもつスイートピー。
名前の通り、爽やかでふんわりと甘い香りが楽しめます。蝶が舞うような花姿から「門出」の花言葉をもつ花です。
17世紀末頃にイタリアのシチリア島で発見され、その後ヨーロッパで改良が進み、多くの園芸品種が生まれています。日本への渡来は江戸時代末期～明治時代頃といわれています。
スイートピーをたっぷり飾って香りを楽しんだり、ヒヤシンスやチューリップなど、春のお花とあわせたりと、主役にも脇役にもなる春のお花です。

**栃木の寒さをいかして、しっかりと育てられたスイートピー**

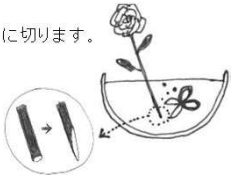
お届けするスイートピーは、栃木県の南部、小山市の生産者さんが育てています。スイートピーの産地は宮崎や広島など日本の西南に位置する地域がほとんど。栃木県小山市は、スイートピーの産地としては最北端です。
この地域は年間平均気温が低い地域。この寒さをいかして、花や茎のしまったスイートピーを栽培しています。
暖房を使用し温度をあげることはあえてせず、低い気温の環境で、じっくりと育てているため、しっかりとしたスイートピーになるのです。
もちがよく、つぼみの花もきれいに咲ききります。

201501

## ■お花が届いたら…

1．切り口についているゼリー状の保水剤を洗い流します。

2．ボールなどに水をはり、水中で茎を斜めに切ります。
※水を運ぶ導管に空気が入ってしまうと、水を吸い上げにくくなることがあります。水の中で切ることで、導管に空気が入らないようになり、斜めに切り、切り口の断面積を広くすることで水の吸い上げがよくなります。



3．水500mlに、同封の花の活力剤1袋を薄めた水に花をいけます。
※水を入れる前に、花器の中をよく洗いましょう。
※活力剤を使用することにより、水中の雑菌の繁殖を防ぎ、栄養を与えてきれいに開花しやすくなります。
※活力剤を薄めた水の余りは、冷蔵庫で保管していただくと、約1週間お使いいただけます。飲料用とお間違えないようご注意ください。
※活力剤を薄めた水がなくなった場合は、水道水で問題ありません。

## ■スイートピーを長く楽しむポイント

・直射日光や冷暖房の風の当たらない場所に飾る。
涼しい場所の方が、葉や花からの水分の蒸散が少なくなり、長く楽しめます。

・きれいな水にいける。
長い時間水をかえないと、水の中の雑菌が増え、お花のもちを悪くします。気温の低い1月は、水も汚れにくいですが、3-4日に1回を目安に水をかえましょう。水をかえる際に、花器や茎をよく洗うことも大切です。切り口を1cmほど切ってからきれいな水にもどします。

・終わったお花は摘み取る。
スイートピーは下の方から咲くお花です。茶色っぽくしおれたお花は、そのままにしておくと、カビや傷みの原因になり、まだ咲いているお花のもちを悪くすることがあります。取り除くことで、見た目もきれいに楽しめます。

株式会社良品計画　www.muji.net
お客様室電話　0120-14-6404
平日10:00～21:00/土・日・祝日10:00～18:00
（年末年始を除く）

Flower MUJI